

## 令和5年度第1回川根本町環境審議会 議事録

- 日時 令和5年10月17日（火） 19:00～20:30
- 場所 山村開発センター2階大会議室
- 出席者 [委員]  
平井一之委員、宮島明利委員、山下喜隆委員、森下洋一委員、神田優一委員、  
前田孝一委員、芦澤哲哉委員、富田道明委員、松岡秀子委員、  
澤本等委員、望月真委員 以上11名（欠席 小澤節子委員）
- [町・事務局など]  
くらし環境課 梶山課長、山本室長  
㈱環境アセスメントセンター 堀内氏、馬場氏
- 配布資料 次第  
委員名簿  
川根本町環境基本条例  
資料1 第2次川根本町環境基本計画 策定の進め方  
資料2 第2次川根本町環境基本計画（案）  
資料3 川根本町環境基本計画に関するアンケート調査概要  
川根本町環境基本計画（後期基本計画）

### ■内容

#### 1 開会

梶山課長よりあいさつを行った。

#### 2 委嘱状の交付

町長より各委員に委嘱状を交付した。

#### 3 町長あいさつ

町長よりあいさつを行った。

#### 4 自己紹介

各委員、事務局が自己紹介を行った。

#### 5 委員長・副委員長選出

委員長として平井一之委員、副委員長として神田優一委員が選出され、了承された。

平井委員長が就任のあいさつを行った。

#### 6 諮問

町長より、第2次環境基本計画の策定について環境審議会の平井会長へ諮問を行った。

## 7 議事（進行：平井会長）

(1) 第2次川根本町環境基本計画の策定の進め方について

(2) 第2次川根本町環境基本計画（案）について（第1章・第3章・第7章）

(3) 川根本町の環境の課題について

- 会長 事務局より資料説明をお願いしたい。
- 事務局 資料1、2、3に基づき説明を行った。
- 会長 事務局から説明頂いた内容と、環境の課題について懸念していることについて、自由に発言して頂ければと思う。
- 委員 資料2の8ページ、小規模水力発電の導入が1基となっているが、中部電力で2基つくっている。1基は長島ダムではないか。200kW くらいの水力発電を作っている。
- 委員 そのとおりである。昨年の5月にアプトいちしろ駅のすぐ下流に1基設置し、奥泉ダムにも1基設置しているが、ダムの位置は静岡市、発電所の位置は川根本町である。
- 委員 資料2の14ページ、環境目標が1～5までであるが、このようにどんと載せたほうが町民にわかりやすいと思った。手前味噌で申し訳ないが、16～17年前に緑のカーテンをやった。役場の庁舎では現在もやっているが、一般家庭ではどうか。川根本町に即している取り組みだと思う。
- 委員 資料2の5ページについて、大井川の濁水の苦情件数がゼロで評価が○になっている。これは、住民にとっては心の痛む環境問題で1次計画の時からあったはずである。何10年前の話ではなくて、ここ20～30年の問題である。アユも昔はたくさん釣れていたが今は釣れない。苦情がゼロなのではなくて、何回言っても改善されないから苦情が出ていない可能性もある。いい町だと思っているが、川の濁水だけは何とかしてもらいたい。その辺の評価は変えて頂きたい。
- 事務局 苦情としては上がってきていないが、地域的には濁水が問題であるため、評価を検討していきたい。
- 委員 濁水は観光、キャンプ目的で町外から来た人には、キャンプ場の管理人としても大変申し訳ないと思っている。水と森が生命線なので、濁水問題については取り組んでいただきたい。
- 委員 近年の雨の降り方を見ると、濁水を止めるわけにはいかない。どうにもならない気がする。
- 委員 森林もそのままなので蓄える力が弱くなっており、いろいろな要因があって濁水となっている。
- 事務局 評価の仕方については、どのようなものがよいか検討させて頂く。
- 委員 生物多様性に対する調査について、県は実施していると思うが、町で実施する考えはあるか。川の濁りは目で見てわかるが、川にどのような生きものがあるか、魚がどれくらいいるかなどは調査しないとわからない。畑が獣に荒らされたというが、資料として残しているのか。どんな生きものがどういう作物をいつ荒らしたのか。その生きものも夜間性が多いので、本当にアナグマなのか、

- そういうこともわかっていない。
- 会長 生物多様性地域戦略のデータベースになるような調査はあるのかという意見である。
- 事務局 今回は県のデータを利用しながら生物多様性地域戦略を策定するが、町独自の調査を実施するかについては、地域戦略の個別の施策の中でどのような対応するかを検討していきたい。
- 会長 第3回目の審議会で生物多様性地域戦略の案を見て、またご意見賜りたい。
- 委員 濁水の苦情がゼロだから○という評価は、何年も前の他の計画の評価とほとんど同じだったので進歩がない。この先、川根本町は高齢者が増えるため、同じように計画を進めること対し疑問を持つ。川根本町の皆さんはどちらかというところ積極的ではないので、思っても町に苦情を言うことはない、評価はその辺りも考えてもらいたい。資料2の14ページに環境目標があるが、あまりにも曖昧であり、特に環境や景観の話をしているときに大事なものは教育である。SDGs や生物多様性など聞いたことはあるが、それが何かを答えられないので、教育が必要である。SDGs はどんなものかという教育をしたり、若い人に川根本町の危機感をもってもらうためにどうしたらよいかという話をしたり、高齢者にももっと環境の教育をする。例えば私がビニール袋を捨てたら東京の方に驚かれた。川根本町も分別をしなければいけなくなると思う。私の住んでいる地区は、他の地区のようにごみ出しを見張っている人がいないので、めちゃくちゃにごみを出して町の人に怒られている人がいる。基本的なことができていないので、恵みに感謝するのはもちろんのこと、教育という言葉も目標の中に入れてほしい。
- 事務局 教育の文言なども、細分化した個別目標の中に入れていきたい。
- 会長 素案が出てこない、イメージがつきにくいかもしれない。
- 委員 資料3の23ページ、ポートフォリオ評価を見るとあまり良い評価ではない。資料2もそうである。環境をよくするために計画を作成し、みんなでやっというなかで、計画自体を作ることよりも、それを形にしたり、よい方向に変えていくことを見据えて計画を作成する必要があると思う。環境問題に興味を持っている子供も多く、地域の人たちと一緒に取り組んで進めていくように積極的にやっていきたいと、今回の資料や皆さんの意見を伺って思った。未来を見据えて、地域と繋いでできる取り組みを学校でもやっていきたいと思う。
- 事務局 計画をただ作るのではなく目標、アンケートで出された意見、悪いイメージをどう払しょくするのか、見直ししながらご意見いただければと思う。
- 会長 川根本町の方々にどのように計画を実行していくか、町民の皆様の環境に対する関心度の底上げをしていく必要がある。町だけではできないので、町民の皆さんがお互いに切磋琢磨していくことが大事になってく。
- 委員 子供たちが野外学習をするという話があったり、エネルギーミックスという話もある。町には小川がたくさんあるので、小水力発電に取り組みないかと常々思っている。電力の教育もできるし、発電できればいろいろなところでも使え

る。太陽光もフィルム型のものもまだ少ないが、発電電力が上がってきたら、フィルム型の太陽光パネルも価格の問題もあるが面白い。バイオマスの話も出るがお金がかかるし、立ち消えになったりしている。取り組みやすいのは小水力か太陽光など。地熱は難しい。

- 委員 小型風力はどうか。地熱もあるがこちらの温泉は温度が低い。
- 委員 島田市川根町は高いが川根本町は温度が低い。
- 委員 防霜ファンで発電できるとよい。PRにもなるし、水と森の番人川根本町と聞いてきたが、街とは違う山の子供たちの環境対応の役割というイメージづけをしたらよいのではないかと。SDGs といってもわが身と思えない。
- 委員 地域特性みたいにやればよい。川根本町は茶工場が少なくなっており、荒廃農地も増えてきている。
- 会長 SDGs は流行ってきているが大きすぎて分かりにくいので、藤枝市はローカルSDGs を作っている。川根本町としてのローカルSDGs を入れるとよいかもしれない。
- 事務局 小水力発電の計測をした実績はあるが、採算ベースでは導入が難しいという報告をいただいたことがある。小型風力発電も県の事業として調査したが、最終的にはうまくかみ合わなかった。
- 会長 時代に対応した第2次環境基本計画、これなら頑張れるというような内容を取り入れられるとよい。
- 委員 PDCA サイクルの記載があるが、計画のためのPDCA みたいである。先ほどのポートフォリオ分析のBゾーンにあるのが川根本町の特徴といえる。95%を占める森林の川根本町の環境の中で、一番期待値が大きい、これは第1次計画の時と同じだと思う。第1次計画の時に、どのようなDOをしたのか確認して欲しい。それが活かされたものになると思う。全体的に網羅した計画はいいが、計画をもとにこれをやりましたという第2次計画になってほしい。これが大きな問題だから、これをしたという計画にして欲しい。
- 事務局 ポートフォリオ分析は、2次計画の策定にあたって町民の皆さんのご意見を伺ったもので、何がだめだったかを見直した上で、第2次計画にどう反映していくかというみなしは必要だと思うので、修正しながら検討したい。
- 会長 第1次計画との違いを整理するとわかりやすい。
- 委員 町の総合計画と5か年計画、10年目の見直しと一緒に思う。内容が変わらない。総合計画の時も発言したが、計画の中でよくなったものが実績として挙げられていないということは、何も変わってないことでその時も話をさせていただいた。計画を作成するのであれば何年か後に、これはよくなったという実績を出さないと意味がない。
- 委員 カラスが野菜をつついてくるが、カラスは有害鳥獣になるのか。カラスは最近増えている。また、推進体制の中に滞在者等という言葉があるが、観光客のことを指しているのか定義を知りたい。
- 事務局 カラスについては、どのような取り組みを環境基本計画の中に盛り込めるか検討したい。滞在者等は条例にも規定しているが、観光客などを対象としている。

- 委員 観光客にこの計画を知ってもらい協力してもらうには、どう手立てをとったらよいかと思ったところである。計画書の中身が出てくればわかるのでよい。
- 委員 川根本町で長年、事業をやらせて頂いて、濁水の問題ではご迷惑をかけている。上流の畑薙、井川の方からの土砂が多くなっている。治山事業もなかなか進んでいないなかで、ものすごい量が流れてくる。昨今では気象が激甚化して、強い雨が降ると水が濁ってしまうが、10年前にいちしろのところに清水化バイパスをつくり、長島ダムの下流にきれいな堰の沢の水を大井川に流そうという設備をつくった。長島ダム自体が濁っていてご迷惑をおかけしているが、できるだけきれいにしたいと思っている。計画の中身について、中部電力でも環境に取り組んでいかないといけないが、どうしても抽象的な表現になる。社員が実際取り組める具体的な内容に落とし込んでいかないといけないと思っている。身近で取り組めることを書いていただけるとよい。環境にはお金がかかるので環境コスト、ごみ出しの話もあったが、ごみの処理にどれくらいかかっているが、分別してリサイクルに回すとどれくらいコストダウンになるのかという環境コストという観点からも検討が必要である。
- 事務局 ごみ処理のコストは数値的に出すことは可能なので、精査していきたい。
- 会長 一般廃棄物処理基本計画でもごみ処理経費を示しているのので、それを示すとよいかもしれない。できるだけわかりやすく抽象的ではなくという意見が出ているが、環境基本計画は環境分野の上位計画であり、細かい施策は個別計画に委ねることになるため、あまり細かなことを入れられない。どうしても表現が抽象的になってくるケースが多いので、その点をご容赦頂きたい。区域施策編や気候変動適応計画などの中で、今日の議論を深めさせて頂きたい。

## 8 その他

第2回環境町民会議は11月30日（木）17：00から1時間半～2時間以内で実施する。

## 9 閉会